

ともづな

第30号

発行 自由民主党 横浜市議員団
編集 黒川まさる 政務調査事務所
www.masaru-k.net 045-781-9580

かけがえのない横浜・金沢の 海辺環境を守るためには・・・

10月1日、横浜市会では決算特別委員会の総合審査が行われ、黒川勝議員は自民党を代表して林市長に対し一問一答の質疑を行いました。1時間を越える質疑では、ラグビー、マラソン、スタジアムなどのスポーツ関係、海や緑の環境保全や道路・上下水道といった都市インフラ、がん撲滅対策、地域貢献企業への配慮、人口減少対策などライフワークとして取り組んでいる政策について多岐にわたって市長と論戦を交わしました。

特に今回は、地元の金沢区をはじめとする横浜の海的环境改善や保全について、林市長との幅広い議論について報告します。

Q. 下水道整備や工場排水の規制だけでなく、横浜港の海の水質環境の改善に向けた取り組みをもっときめ細かく行うべきだ。

A. 野島海岸については、市民団体との定期的な海岸清掃や意見交換会などで水質向上や生物の生息状況把握に努めている。市内の海岸部全体についても企業との連携など『きれいな海作り事業』を通じて展開している。

Q. 平潟湾で大量にカキやアサリを捕獲して貝殻を投棄している者がいる。水辺環境だけでなく

水質の悪化にもつながるので、禁止条例を作るなど横浜市としても厳正に対処すべきだ。

A. 漁業法・水産資源保護法に基づいて神奈川県と海上保安庁が指導・監視・取り締まりをしている。市も看板の設置などで協力している。

Q. 20年近く平潟湾の浚渫は行われていないが水質環境のためにも、水害や津波などの災害対策のためにも平潟湾の浚渫に取り組むべきだ。

A. 過去の水質の悪化状況などの調査・研究などの経過を踏まえ対処していきたい。

違法捕獲に対しては、県に協力だけでなく横浜市独自の取り締まり強化をすべき、浚渫も調査研究よりも地元の声を良く聞いて欲しいと意見を述べました。海苔やアナゴ、ホタテなどの漁業や、釣り、潮干狩り、海水浴やウインドサーフィン、トライアスロンなど金沢区には他区にない独特の文化や楽しみがあります。市長や市役所にも理解を求め、予算配分や政策推進を求めていくことも、金沢区選出の市会議員の大切な仕事です。



黒川まさる市議が子供の頃から変わらない平潟湾の眺望は金沢区民の大切な財産です。



市民に開かれた政治を目指す黒川まさる市議に対し、期待、要望、激励、メッセージなどをお寄せください。

お名前・ご連絡先

返信 FAX 045-786-4310 メール masaru-k.net@hb.tp1.jp

今週

11月7日(土) 13:00~

集合場所
野島海岸

日除け帽子
タオル・飲み物
濡れても良い靴
などは
各自ご用意
下さい。

海岸清掃後、ゴミ分別・野島の海の生物
観察&説明があります。 ※会費は掛かりません。

野島海岸 ビーチクリーン

私たちにできることから
地球環境を守っていこう。

横浜市の唯一の自然海岸である野島海岸が
どんどん小さくなってきているのを知っていますか？



今回の海岸清掃活動は、海をつくる会・野島青少年研修センター・野島町内会その他多くのボランティアのみなさんとともに開催させていただきます。

お問い合わせ・お申込みは

黒川まさる 事務所 Tel 781-9580 Fax 786-4310